

「ただ正しいことのみ  
追求しなさい」

(申命記16・20)



## 新しい いのちを 与える

この聖書の言葉は、  
2019年1月18日から  
25日まで行われる  
「キリスト教一致祈禱週間」  
のために選ばれたものです。

このみ言葉に助けられて、  
まずは諸教会の信者たちの間で、  
そして周りにいる誰とでも、  
よい関係を築きましょう。

キリスト者たちが一つになって  
すべての人に奉仕するなら、  
社会の不正の傷も癒されていく  
でしょう。



残念ながら、  
矛盾や不正は  
日々目にすることです。  
とくに、最も弱い立場  
の人や、社会の片隅で  
やっとの思いで生きて  
いる人が犠牲になって  
います。



神の正義とは  
「人に新たないのちを与  
えること」です。

1998年にアウグスブルグ  
(ドイツ)の聖アンナ福音派  
教会であったエキュメニズム  
の集いで、キアラ・ルービック  
はこう語りました。

「キリスト者として歴史を振り返る  
とき、私たちは深い悲しみを覚え  
ずにはいられません。キリスト者  
同士が絶えずいがみ合い、互い  
に耳を傾けず、争ってきた歴史が  
あるからです。もちろん、歴史的、  
文化的、政治的、地理的、ひいて  
は社会的背景など様々な原因が  
そこにあったことは確かです。  
でもキリスト者同士をひとつにす  
る大切な要素、『愛』が欠けてい  
たことも否めません。

エキュメニズムに携わるとき、  
十字架に付けられ、見捨てられな  
がらもなお、御父に全てを委ねる  
イエスの姿を見出し、彼を愛する  
なら、必ず実りがもたらされる  
でしょう。『十字架につけられ見捨  
てられたイエス』こそ、あらゆる不  
一致の原因に気づかせ、再び  
一致をもたらすための『鍵』だから  
です。

一致のあるところには、実りがも  
たらされます。それは人々の間、  
共同体の中にもたらされるイエス  
の存在です。『二人三人が私の名  
によって集うところ、そこに私は  
いる』とイエス自身がおっしゃいま  
した(マタイ18・20)。」1



## 僕ら の 経験:

このイエスの存在を体験  
している人たちの話です。

数年前から、パレルモ  
(イタリア)でいろいろな  
教会の信者が一緒に、  
刑務所の人たちのため  
に活動をしています。

最初に活動を始めた福音  
派教会の信者のサルバト  
ーレが語ります。

「服役中の“兄弟”たちを  
訪問しながら、彼らが精  
神的にも、人間的にも助  
けを必要としているのが  
分かりました。助けてく  
れる身寄りもない人が多  
いのです。神様に委ねな  
がら、自分の教会や他の  
教会の人たちにこのこと  
を相談しました。」

聖公会のクリスティーヌ  
が続けます。

「彼らを支えることが、  
神様の愛を具体的に  
届けるチャンスに  
なっていて、  
私たちはとても  
うれしいです。」

カトリックのヌンツィアも  
言います。

「私たちにできる  
支援は小さなもの  
ですが、イエスの  
メッセージを  
告げる機会にも  
なっています。」

